

新聞英雄 箏箏 傑作選

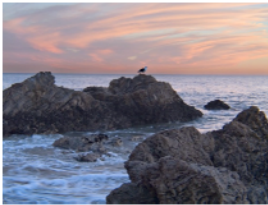


1. 「気まぐれロンド」十九世紀ギター秘曲集 (新録音方式で2007年制作)

18~19世紀、ピアノソナタと同じように有名無名のギタリストたちがギターのソナタを作曲しました。収録されている二つのソナタは優れた作品であるにもかかわらず埋もれた作品となっています。聴いていただければそれがいかに不当であるかが判るでしょう。

ロンド形式を使った幻想曲(ファンタジー)や奇想曲(カプリチヨ)は十九世紀中頃から流行しました。ソナタとは違ったギターの魅力が発揮され聴いて楽しい作品がありますが、これまた現代ではあまり弾かれることもなく眠っているのです。そのような優れた作品を探索し発掘して演奏しました。

編曲 マティーカのソナタ全四楽章、無名のアダム・ウエルナーによるソナタ全四楽章、標題の傑作曲ロンド・カプリチョーソ、フェレール、モッツァーニの小品など。



2. 「夕闇の瞑想曲」ホセ・フェレール秘曲集

フェレールのイメージを180度ひっくり返した演奏。だれも気がつかなかった「夕闇の瞑想曲(ノクターン)」「君がいなければ」「バラード」の三曲を聴けば、それらが偉大なターレガの作品と比肩すべき傑作であることが判るでしょう。もちろん名作「スペイン・セレナーデ」「水神の踊り」も収録されています。

誰も気付かなかったことですが、フェレールがギターファンに偉大な財産を残してくれていたことが、このCDであきらかにされたと信じます。

3. 「独創的幻想曲06」十九世紀ロマン派ギター名曲集

十九世紀を代表するメルツの作品は、あまりにも難曲であるために名前だけ知られていてその作品は、ほとんどのギターファンの目にとまりません。その代表作「独創的幻想曲」「ゴンドリエ」は私が三十歳のときから繰り返し演奏してきました。時が流れ、今ふたたびこの曲を録音することに挑戦しました。他にもメルツと競ったコストの「ワルツ・フェバリット」「グラン・ロンド」発表会定番の「白鳥の歩み」「ギタリストの宝」「雨だれ」



などを収録。

4. 「魅惑のバリ」フェレール作品集 Vol.2 (三月完成) 9作品 14曲

月刊誌現代ギター2007年新年号から掲載された私のフェレール作品と演奏の解説は反響を呼び、京都のギターファンの好意により中野二郎書庫(同志社大)蔵品を含むフェレール全作品のコピーの寄贈を受けました。そのご好意に報いるためにも第二作を作ることは私の使命であると思います。タイトル曲「魅惑のバリ」を始め「楽師の歌」夕闇の瞑想曲の姉妹編傑作「独り言」そして、ソルのメヌエット集 op. 11 に比肩する1893パリ国際音楽祭作品コンテスト優勝のメヌエット集「追憶」全六曲、シリアスなこの作品はフェレールの代表傑作曲に加えるべきです。その他初期の「ベリオの主題による変奏曲」「護符」「ポロネーズ」どの曲も優れた作品であるのに、未だかつて世界中のギタリストの誰も取り上げなかったものです。



前作以上に録音が向上し、小品は収録せず内容の充実度も前作を上回ります。

5. 「私が飛んでいた頃」1963~1973 ライブ (非売品・特別頒布)

1963年当時「アルアンブラの思い出」が演奏できればコンクールに入賞できた時代。二十八歳、若輩の私がりサイタルのアンコールで弾いたモーツアルトの「メヌエット」は来日したアニード女史の演奏を耳で覚えたコピーでイントロは自作であった。その小回りの効いたテクニックは、当時としては驚異的であり、仲間の新人ギタリストたちや熱心なギターファンを驚愕、瞠目させた。満場の熱狂的な拍手がその様子をうかがわせる。

往年の快演「独創的幻想曲」「ゴンドリエ」「パラグアイ舞曲」など、私がギタリストとして飛び立とうとしていた頃のライブ演奏を中心に集約。全10曲。1980~1990その2放浪期もあり。



予定・十九世紀ロマン派ギター名曲集 Vol.2 (企画中)

CD1~4は収録曲楽譜を掲載した解説の本が付録です。CD2と3は合冊本。5は希望者に無料配布です。

頒布価格 CD1、2、4 各 ¥2000 (付録・収録曲集と解説 B5版 40~70頁)

CD3 ¥1500

送料 ¥200

申し込みは 154-0022 東京都世田谷区梅丘 3-14-21 新聞英雄 03(3429)8043

メールでの申し込みは shinmaf@kxe.biglobe.ne.jp

郵送の場合は CD 本が届いてから同封の手数料無料の郵便振替用紙で払い込みください。